

## 校長より

昭島市立共成小学校長

石井 世津子

平成 29 年度、創立 42 年の年が始まりました。

本校は、昭島市の東南に位置し、学区の南側には多摩川の流れがあります。「水と緑のまち—昭島市—」を代表する豊かな自然環境にあります。職員室からも見える校庭の美しい木々は四季折々に色取りを変え、子供たちの成長を見守っています。共成小学校は、自然の豊かさがあふれています。このような環境は子供の感性を高め、情操を育てています。

地域の活動も市内屈指です。共成小学校地区委員会の活動は活発に行われ、米作りは今年で 28 年、サマーキャンプ 26 年となり、地域に受け継がれてきています。春のスポーツ大会では、子供たちの多くが参加し、卒業生も手伝いに集まって来ています。学校と地域がしっかりと手を取り合い、地域と共にある学校として輝きを放っています。

平成 29 年度は、児童数 297 名、1 年から 6 年まで通常学級各 2 学級、特別支援学級「若草学級」2 学級の計 14 学級でスタートしました。

本校では、基礎学力の定着と向上を最重点課題とし、日々の授業の充実を図るとともに土曜補習、放課後補習等を計画的に行っています。

算数の授業では、指導方法の工夫改善として、習熟度別少人数指導（3 年～6 年生）、少人数指導（1 年・2 年）を実施し、着実に成果を上げています。

また、今年度も教育学部の大学生の人材を活用し、基礎学力の向上に努めています。今年も多く的大学生をティーチング・アシスタント（TA）として各学級の個別指導補助に活用し、子供の学びの支援の工夫を続けています。

今年度は、2 年間の東京都人権尊重教育推進校としての研究成果を踏まえ、認め合う 伝え合う 学び合う授業を基本とし、主体的・対話的で深い学びを目指して研究を進めていきます。そして、いじめをしない、させない、許さない、見逃さない生活を学級全体に浸透させ、豊かな心を育てていきます。

また、あいさつが全校で気持ちよく交わされることを基本に据え、「あいさつはまほうの力」の歌を大事に歌っていきます。

27年度より「オリンピック・パラリンピック教育推進校」「日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業」の指定を受け、29年度も、外部講師や専門家を招き、心身の健全な育成を図り、合わせて個々の子供に応じたきめ細かい教育の充実を展開していきます。

さらに今年度も、日々の学校生活の中で子供が本に親しむために、読書活動を推進しています。図書ボランティア・読み聞かせボランティアの保護者の皆様の御支援・御協力をいただきながら、学校図書館の充実と学力の基となる言語力の育成も図っていきます。

共成小学校は、教育目標に向かって、保護者・地域の皆様のお力をいただきながら子供の学びを充実させ、基礎的・基本的な力をしっかりと身に付けさせ、感性豊かで一人一人の個性が光り、「英知とわざを磨き合う」学校を目指して教育活動を進めています。